

対馬の環境を考える

今日からできる EM活用生活

汚れや悪臭の元を分解し、腐敗菌の増殖を抑えてより快適な生活空間を作り出してくれるEM（有用微生物群）。

「興味はあるけれど、どうやって使えば良いの?」「どんな効果があるの?」という声も聞かれています。

対馬の環境改善はまず家庭から。暮らしの中の様々な場面でEMを活用して、EMと一緒に暮らす生活を始めてみませんか。

子どもも大人もエコに挑戦！EMで対馬を元気にしよう

「僕らはおへそで地球と、対馬の自然とつながってる。対馬をきれいに元気にして、自分たちも明るく楽しくなろう」



ゴミをこのポカシを使って肥料にし、花や野菜を育ててみたい」と、ビニールにぎゅうぎゅうと詰め込んで持って帰りました。当日指導していただいた

この日、会場を提供した高野山寿福院（厳原町西里）住職の大西真祥さんは、10年ほど前、高知県の清流四万十川を守るための活動にEMを活用していることを聞き、対馬の素晴らしい自然環境を守っていくために、これを活用できないかと興味を持たれました。



地域で子育てを楽しむ会（世話人 吉田千鶴代さん）は6月・7月とEMを活用した環境活動に挑戦しました。

EMぼかし作り

- 準備するもの
- ・米ぬか（あればもみから）
 - ・混合液 EM 活性液、糖蜜、水
 - ・密閉容器またはビニール袋

混合液をじょうろでかけながら丁寧に、団子にならないように良く混ぜます。子ども達は「ふかふかして気持ちいい」と作業を楽しんでいました。混ぜた手もEMのおかげでツルツルします。

ビニール袋に入れ、空気を良く抜いて密封します。3〜4週間発酵させ、果物とアルコールが混ざったような甘い香りがすれば発酵が成功です。参加者は、家庭から出る生

生ゴミを混ぜて肥料を作り、畑作りをしています。美味しい野菜を作りたいです。



参加した野村さん親子

ヘルスメイトの国分さん・初村さんは、いろいろな集会から指導の依頼があり、皆さんが興味を持ってEM生活を始めてくださっています。子ども達にも今日の取り組みでEMのことを覚えてもらい、今度は家庭で実践してほしいと思います。畑がなくても、プランターを利用して花や野菜作りが楽しめますよ」と話してくれました。



国分さんと初村さん

EMだんご作り

泥遊びが大好きな子ども達は、「自然が元気になりますように」と願いながら次々とEMだんごを作っていました。天日干しされて出来上がったEM団子は、9月に子ども達の手でお船江に投入される予定です。



EM生活に興味がある方は、市役所環境政策課または各地域活性化センターまでお問い合わせください。団体や、お友達を誘ってグループでお申込みいただくと、インストラクターがお手伝いに参ります。（注 準備できる資材に限りがあります）

生ゴミなくして対馬の税金減らそうや

対馬市商工会女性部峰支部 支部長双須富子さん(67)



「まあ、まずはありのままを見てやってください」

お庭を拝見するとサニーレタス、プチトマト、トウモロコシ、ブルーベリーなどが元気に育っています。驚いたことにそのどれもが地植えではありません。

「プランターやオイルの空き缶でもこんなに元気で立派な野菜が作れるんです。これは私が努力したんじゃない、EMで生ゴミ処理したおかげ

なんです」

生ゴミなど水分を含んだゴミを焼却するには余計に燃料が必要になり、私たちの税金が使われます。「対馬の税金を減らそう」と、峰町の商工会女性部が生ゴミをなくすためにボカシ作りを始めたのが7年前。4年前から

はEM培養液を使った活動が始まり、米のとぎ汁EM発酵液やEMボカシの普及のほか、地元の保育園児や小学生と共にプールへEMを投入し、清掃を通じて環境について考える活動をしていらっしやいます。



ボカシと残飯を混ぜ、密閉バケツにギュツと詰め込む繰り返し。魚も良い肥料になるそうです。発酵後は土と混ぜ、落葉を敷いた容器に重ね入れ、蓋をして2週間。発酵が進んだ土は臭いもなく、きれいな土に。手を差し込むと、熱めのお風呂ほどの熱を持っていました。

「紙ゴミや段ボールだつて土にかえます。何でももつたいなくて捨てられません」

出来上がった土は酸性のためブルーベリーにはそのまま使用し、その他の植物にはかき殻石灰で中和させて使えます。

土ができるその都度、プランターなどに足していきます。作物の成長が違つそうです。

生ゴミをEMボカシで処理する際に溜まる液は、水で薄めて水やりに使います。



熟れすぎた梅やシンの茎をEM活性液に漬けて液肥作り。畑の雑草もこの中に入れて発酵させます。発酵後の雑草は植物の根元に置くと、土がフカフカするそうです。

浴室を拝見すると、湯船には米のとぎ汁EM発酵液を詰めたペットボトルが浮いています。残り湯の温度で発酵が進みます。お風呂にもEM活性液を入れて入浴。肌がツルツルするそうです。アトピー



の方の肌の状態が良くなったとの声も届いているそうです。「なんも難しいことはないですよ。ゴミも減る、体にも優しい、環境にも良い、美味しい野菜も作つて食べられる。一石ナン鳥にもなります。きれいな海を、昔の対馬を取り戻しましょうや」

双須さんの夢はまだ広がります。



おじゃまします

EMを使い始めて2か月。竹末さんのお宅での利用方法を拝見



室内の清掃にフル活用しています。

スプレー容器に50倍希釈の米のとぎ汁EM発酵液を用意しておきます。レンジ周りのお掃除にシュッシュッと吹きかけながら拭き掃除。フード周りなど油污れのひどい場所には、キッチンペーパーに希釈液を吹きかけて貼り付けます。洗剤ではないので、魚焼きグリルの掃除にも安心して



使っています。ベトベト感もなく、きれいになります。シンクも曇りが取れピカピカに排水溝へは就寝前にカップ1杯の原液を流し込みます。フローリング床の掃除にはモップに希釈液を吹きかけて拭き掃除。

お風呂の残り湯にはカップ1杯の原液を入れ、風呂イスイヤ洗面器を漬け込んで就寝。翌日、軽くこするだけで汚れが取れ、蒸気が浴室内の防カビにも一役。

生け花のお水に入れたり、乾燥する季節には加湿器の水にも入れてみたいです。イチゴの鉢植えに一度散布してみたら、季節が終わった今頃ふたたび実がなりました。EMのおかげかしら？

プールにもEM!



夏を前に、対馬ロータリークラブ・対馬市商工会女性部・峰町なでしこ会・佐須奈地区あい花の会の皆さんにご協力いただいて、市内各小学校プールおよびB&G海洋センタープールにEMを投入しました。

投入したおよそ1月後に水を抜き、プールの清掃を行いました。例年、こすつてもこすつてもなかなか取れなかった水ゴケが、このように「スルト」と落ち、また、臭いも感じませんでした。EMによって分解が進んでいたものと考えられます。EMの力つてすごい！
ご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

除菌・滅菌といった商品が増え、私たちは「菌」にあまり良い印象を持たなくなっているように思います。

取材中に「菌を取り除く生活をしているのに、菌と暮らす生活を薦めている。そもそもどう違うのですか？」と質問されました。

例えば米や麦、大豆が悪玉菌（有害微生物）によって酸化すると腐敗します。しかし善玉菌であるこうじ菌（有用微生物）を使用することによって材料が発酵（＝抗酸化）し、みそやしょうゆ、酒になります。私たちは昔から人間を助けてくれる菌によって、様々な発酵食品と共に暮らして来ました。

自然界にたくさんいる微生物その中の約10%が善玉菌・10%が悪玉菌で、残り約80%は環境によって有用にも有害にも変化する日和見菌といわれています。

食品加工などに使用される安全で有用な微生物ばかりが含まれているEMを利用し、日和見菌をも味方につけ、私たちの生活をよりよいものにしていきましょう。